

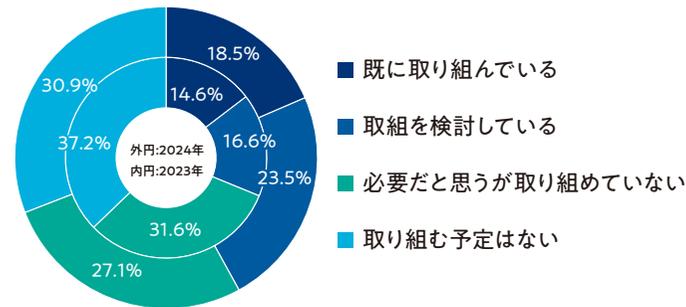
企業のDX推進のための 参考データ

DXへの関心が高まる中、大企業を中心に取組が進む一方で、中小企業ではDXの認知は広がりつつあるものの、デジタル化はなお途上にある状況です。

本データは、中小・小規模企業におけるDXの取組状況、具体的な取組内容、成果、課題を把握し、企業が今後のDX推進を図る上での参考として活用いただくことを目的としています。

DXの取組状況について

DXの取組状況を見ると、「既に取り組んでいる」または「取組を検討している」と回答した企業は42.0%となっており、DXに取り組む企業は年々増加しています。一方で、「取組む予定はない」とする企業は30.9%となっており、企業間で取組状況に差が見られます。

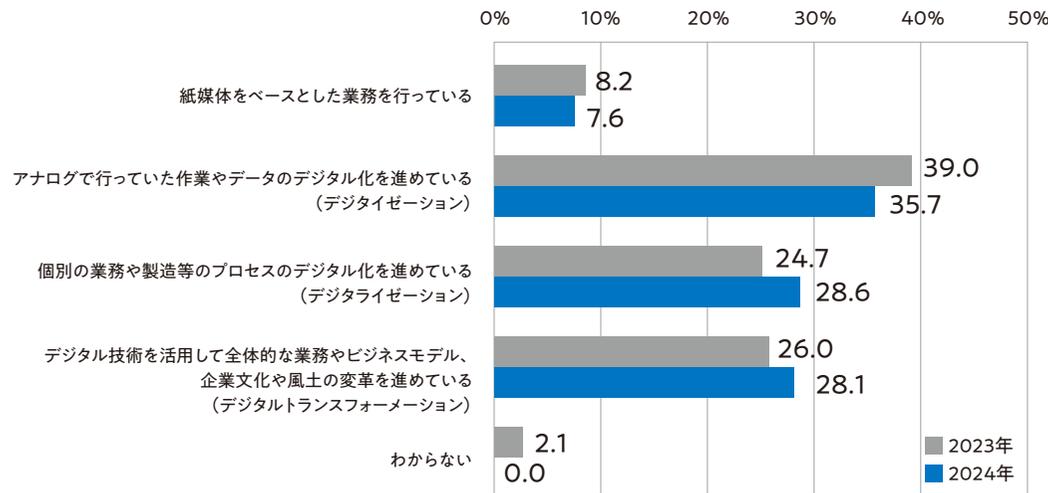


※出典:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業のDX推進に関する調査(2024年)を基に作成

DXに向けての取組の進捗状況について

DXに「既に取り組んでいる」と回答した企業の進捗状況を見ると、アナログで行っていた作業やデータのデジタル化を進める「デジタル化」が35.7%と最も高くなっています。

一方で、業務プロセスのデジタル化を進める「デジタルトランスフォーメーション」28.1%も増加しており、取組の高度化が進みつつあることがうかがえます。



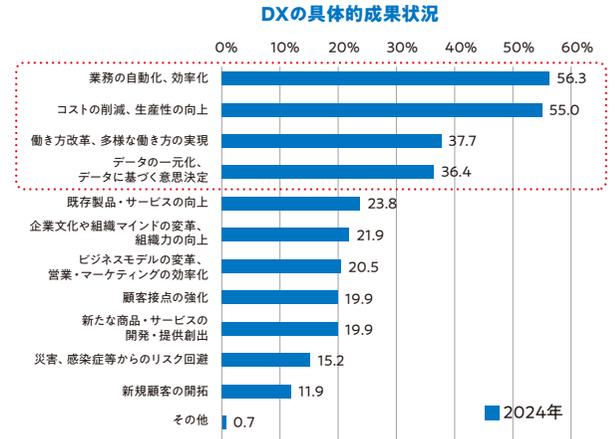
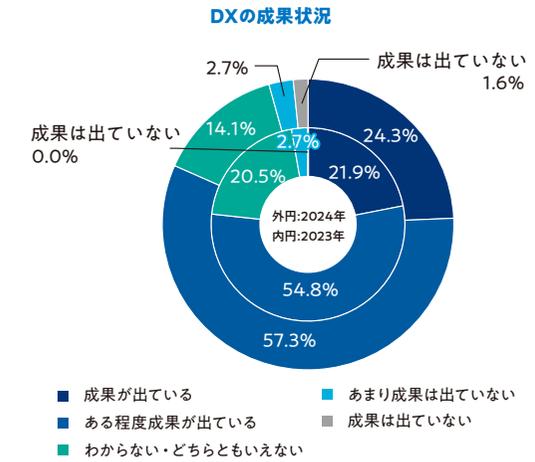
※出典:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業のDX推進に関する調査(2024年)を基に作成

DXの取組成果について

DXの取組において「成果が出ている」「ある程度成果が出ている」と回答した企業は81.6%となり、前回調査を上回っています。多くの企業で、DXによる一定の効果が実感されていることがうかがえます。

DXの成果が出ている企業の具体的な内容を見ると、「業務の自動化、効率化」や「コスト削減、生産性の向上」が高い割合を示しています。

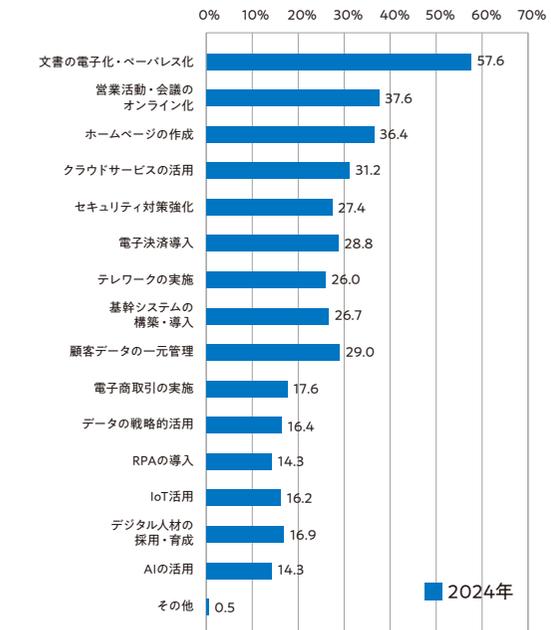
次いで、「働き方改革、多様な働き方の実現」「データの一元化、データに基づく意思決定ができた」といった効果も挙げられており、業務改善から働き方の変革まで幅広い成果が表れています。



※出典:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業のDX推進に関する調査(2024年)を基に作成

DXの具体的な取組内容について

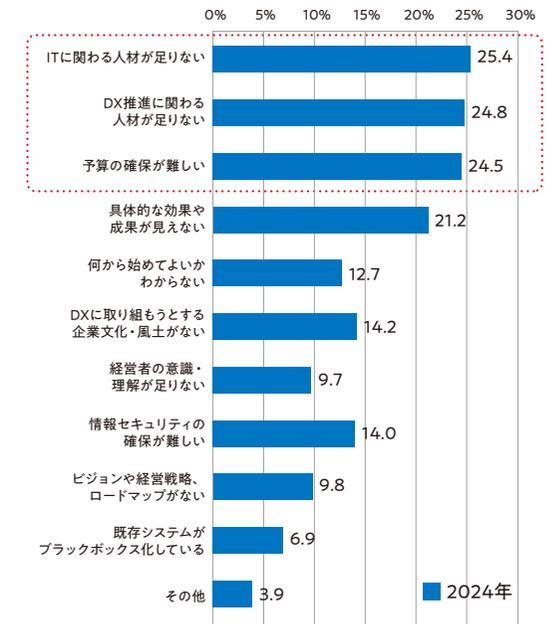
DXに「既に取り組んでいる」または「取組を検討している」と回答した企業の取組内容を見ると、「文書の電子化・ペーパーレス化」が57.6%で約6割となっています。



※出典:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業のDX推進に関する調査(2024年)を基に作成

DXに取り組むに当たっての課題について

DXに取り組むに当たっての課題を見ると、「ITに関わる人材が足りない」は25.4%、「DX推進に関わる人材が足りない」は24.8%となっており、人材不足が主要な課題となっています。



※出典:独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中小企業のDX推進に関する調査(2024年)を基に作成